

# Miyagi Information Service Industry Association

## 第17回通常総会開催

一般社団法人としてのスタート/新役員名簿

委員会からの報告

東北ITソリューションEXPO2011開催

場所: 愛子「諏訪神社」裏 サイカチ沼 撮影: (株)SRA東北 斎藤 慶二氏

■発行/一般社団法人 宮城県情報サービス産業協会

仙台市青葉区上杉一丁目7-7-903  
TEL 022 (217) 3023 FAX 022 (217) 3055  
e-mail:misa@misa.or.jp

■URL/<http://www.misa.or.jp>

■企画・編集/企画・広報委員会

■印刷/ハリウ コミュニケーションズ株式会社

**No.30**

2011 September

MISA会報 第30号

## 第17回通常総会・記念講演会・懇親会開催報告

去る6月21日(火)午後1時50分より社団法人宮城県情報サービス産業協会の第17回通常総会が仙台市「パレスへいあん」において90社近くの出席の中開催されました。

本総会は、3月25日に予定されていた一般社団法人設立総会が東日本大震災の影響で順延となっていたもので、石塚会長の開会挨拶、宮城県企画部長の伊藤和彦氏よりの来賓挨拶に引続き議事に入り、全議案とも提案通り承認されました。

- 第1号議案 社団法人宮城県情報サービス産業協会の解散・移行について
- 第2号議案 同 平成22年度事業報告
- 第3号議案 同 平成22年度決算報告
- 第4号議案 同 平成23年度(4～6月)事業報告
- 第5号議案 同 平成23年度(4～6月)収支決算予想(案)
- 第6号議案 同 剰余金の取り扱い等
- 第7号議案 一般社団法人宮城県情報サービス産業協会の定款変更(案)
- 第8号議案 同 会費規程など
- 第9号議案 同 役員選任(案)
- 第10号議案 同 中期事業計画(案)
- 第11号議案 同 平成23年度(7～3月)事業計画(案)
- 第12号議案 同 平成23年度(7～3月)収支予算(案)

通常総会に引続き、現在大震災で注目されている政治経済問題について、政治ジャーナリストの末延 吉正氏による、「日本はどのような!大震災で政治は変わったか」と題する講演会が開催されました。(講演会要旨は別掲記事参照)



その後の交流会は末延講師にも出席いただき、180名に及ぶ出席者のもとで、長田副会長の開会挨拶、東北経済産業局地域経済部の寺家克昌部長、仙台市経済局の天野元課長からのご来賓挨拶、アルゴソリューションズ株式会社代表取締役の宮崎正俊顧問による乾杯の発声に引続いて懇談に入り、大震災から日も経っていない中、和やかな雰囲気の中で午後6半過ぎ、稲葉企画・広報委員長の御開きの辞を以ってすべての行事を無事終了しました。



## MISA 第17回通常総会 会長挨拶

一般社団法人 宮城県情報サービス産業協会 会長 石塚 卓美



第17回総会開催に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。  
平素は当協会の活動に格別のご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

また、このたびの東日本大震災で被災されました方々に対し謹んでお見舞い申し上げます。3月11日に発生した宮城県沖を震源としたM9という巨大地震は、東日本沿岸を中心に大きな被害をもたらしました。

これは阪神淡路大震災をはるかに超えた未曾有の規模であり、ご家族や家屋を失った多くの方々に対し改めて哀悼の意を申し上げますと共に一日も早い復興をお祈りいたします。

MISA会員企業も被害を受けられた中で、震災復興支援としてボランティアセンターでの入力業務のお手伝いや避難所などへのOA機器の設置・調整作業等を行ってまいりました。これまで16の会員企業さんから延べ70人日のお手伝いをいただきました。宮城県社会福祉協議会様からも感謝の言葉をいただいております。本当にありがとうございました。

さて、本日の総会は「22年度事業報告」、「23年度事業計画」の他にこの度、公益法人制度改革対応に伴い当協会が一般社団法人として正式認可を受けましたので「現法人の解散及び新法人への移行」についてお諮りするのが主目的の一つであります。何卒宜しく願い申し上げます。

さて、最近の経済情勢は、この度の「東日本大震災」の影響があまりにも大きく、製造・流通を含め国際的な問題にまで発展しており、全く予想がつかない状況にあります。特に東北経済は、本震災の被害が甚大であることから全体的な収益悪化は避けられず、復興計画の遅れと共に、しばらくは厳しい状況にあるという感じがしております。

このような状況において、私共のお客様である企業や自治体等のユーザ様も、大変大きな被害を受け、設備投資面を始めITに関する投資も先送りせざるを得ない状況に在り、私共の業務量の落ち込みも現実化している状況にあります。会員の一層の連携と創意によりまして、震災復興支援へも積極的に取り組み、あらゆる施策を講じながらこの難局に対応していく必要があると考えております。

そうした中、当協会は7月1日をもって一般社団法人として新たなスタートを切ることになりました。これにより、公益という縛りがなくなり会員の共益活動を主体に個別で対応できない業界のいろいろな課題に対する企画や実施への柔軟な取

組みがより可能になったわけでございます。このメリットを最大限に活かしたMISAの積極的な活動を通し、さらなる会員サービスの向上を図っていくと共に地域社会・経済の活性化にも貢献していきたいと心を新たにしているところでございます。また、タイミングよく、23年～25年度の3カ年中期事業計画も策定することが出来ました。後ほど本中計の報告がありますが、23年度の事業はこの計画の重点項目を基本にその初年度として策定したものであります。我々IT産業の大きな変革が問われている中、是非この中期計画を実りあるものになりたいと思っておりますので、会員の皆様には、各委員会活動等を通じ事業への積極的な参加をよろしく願いいたします。

そして、平成23年度も、皆様共々活力ある宮城県情報サービス産業界の発展と魅力溢れる地域づくりに貢献して参りたいと考えております。

皆様方からの一層のご理解・ご協力をよろしく願い申し上げます。

本日は、この本総会終了後に政治ジャーナリスト・中央大学経済学部特任教授の末延様から「どうなる日本!大震災で政治は変わったか」というテーマで記念講演をいただくこととしております。今災害復興と政局の不安定が問題視されているところであり大変興味のあるお話ではないかと期待しているところでございます。末延様には大変お忙しい中、誠にありがとうございます。どうかよろしく願い申し上げます。

最後になりましたが、厳しい景況の中ではありますが、谷あれば山でございます。一日も早い景気の回復をご祈念申し上げ開会にあたっての挨拶といたします。



## 第17回通常総会 来賓ご挨拶

宮城県震災復興・企画部長 伊藤 和彦 氏



貴協会におかれましては日頃から情報産業の振興を始め、高度情報化の推進に各別のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。また、東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますと共に被災されました会員の皆様に心よりお見舞い申し上げます。あわせて、いろいろと震災復興にご支援いただき誠にありがとうございます

石塚会長様には、富県宮城推進会議メンバーとして貴重なご意見・ご提言を賜りこの場をお借りいたしまして改めて御礼申し上げます。

東日本大震災により、宮城県は沿岸部を中心に甚大な被害を受けており、徐々に上向きつつありました本県経済情勢も低迷段階に逆戻りいたしまして厳しい状況が続いております。情報サービス産業につきましては、震災後比較的早い段階で業務を再開出来た企業が多いにもかかわらず、いわゆる風評被害等々、受注業務の減少が見られるなど大変厳しい状況にあると認識しております。県といたしましても、現在策定中の震災復興計画の支援と合わせて平成23年2月に皆様から協力いただき策定いたしま

したIT推進プラン2013に基づき、情報サービス産業の振興を引続き積極的に推進していくこととしております。具体的には、IT商品トライアル導入促進事業、あるいは派遣OJT支援事業、IT業界次世代人材育成事業などによりまして企業の皆様の業務獲得や人材育成に対する支援への取り組みにも積極的に関わっていくこととしております。

貴協会におかれましては、本総会により一般社団法人として新たに生まれ変わることになり震災による厳しい経済情勢の中ではございますが、貴協会が果たす役割はますます大きくなっていくものと思っております。今後も企業間、産・学・官の連携によります事業創出や市場開拓の促進、人材育成、更には業務獲得支援に取り組んでいただくことにより、県内経済の活性化に御貢献いただきますよう期待しているところでございます。

最後になりましたが、一般社団法人宮城県情報サービス産業協会のますますのご発展と本日ご出席の皆様のご健勝を心より祈念いたしまして私の挨拶とさせていただきます。



東北経済産業局地域経済部 部長  
寺家 克昌 氏



仙台市経済局 課長  
天野 元 氏

## MISAは7月1日より正式に一般社団法人へ移行いたしました。

昨年7月23日、宮城県知事宛てに一般社団法人移行認可申請を行い、審査中でしたが平成23年6月20日付で認可となりました。これに基づき、今総会で正式承認をいただき、法務局への解散・設立登記手続きを完了、7月1日付でMISAは新法人として新たなスタート

を切りました。

当初3月に認可を受け、4月1日より移行する予定でしたが、東日本大震災により繰り延べとなっていたので会長には引続き石塚 卓美氏が努めますので、新体制共々よろしく願いたします。

### 一般社団法人宮城県情報サービス産業協会 新法人役員名簿

	氏名	所属・役職・(担当委員会)		氏名	所属・役職・(担当委員会)	
会長	石塚 卓美	東北インフォメーション・システムズ(株) 代表取締役会長	理事	菅野 直	ハイスリープロジェクト(株) 代表取締役 事業共創委員長	
副会長	荒井 秀和	(株)サイエンティア 代表取締役社長		小林 隆	(株)ラネックス 代表取締役 会長	
	長田 純一	東北NSソリューションズ(株) 代表取締役社長		佐藤 麻美	東北ディーシーエス(株) 取締役社長 経営委員会	
常務理事	穴沢 芳郎	(一社)宮城県情報サービス産業協会 事務局長		中居 寛二	テクノ・マインド(株) 代表取締役社長	
理事	秋山 博信	(株)仙台ソフトウェアセンター 常務取締役 人財確保推進委員会		増子 良一	イートス(株) 代表取締役 経営委員会副委員長	
	稲葉 輝雄	(株)東北システムズ・サポート 代表取締役社長 企画・広報委員長		渡辺 勉	東北インフォメーション・システムズ(株) プロスタッフ 福利厚生委員長	
	大森 清視	(株)ピッツ 執行役員 人材育成委員長		監事	阿部 嘉男	(株)SRA東北代表取締役社長
	小野寺 満明	(株)システムロード 取締役社長 経営委員長			鈴木 利信	(株)アテネコンピュータシステム 代表取締役社長

(敬称略 各五十音順)



## MISA一般社団法人移行総会記念講演会から

去る6月21日、MISA一般社団法人移行総会終了後、政治ジャーナリスト・早稲田大学特任教授の末延 吉正氏より「どうなる日本!大震災で政治は変わったか」の演題で講演をいただきました。

内容は末延講師の実務経験を基に視聴率を重んずる現在のメディア報道の実態と本当の実情を知らせるためのメディア責任の在り方、混迷する政局の動向、社会再生へのIT活用の重要性等豊富な人脈を持たれる講師独自の私見を含め、参加者の興味を得る内容の講演でありました。

現在の国民が関心あるテーマのメディア報道に関しては、視聴率を重視しているあまり、タレントを活用する等ワイドショー的番組に徹する傾向にあり、知見や教養、見識を持ったプロフェッショナルをコメンテーターとして活用しなければ本当の実情は伝わらない。

国益と国民益の主権者である、国民の側に立って事実を明らかにしていくのがジャーナリストたる使命である。

混迷を続ける政局については、首相の退任問題を含め、意見の閣内不一致や与野党の政策論争に足を取られ、震災復興・再生の妨げになっている現状について、裏話を含め生の話をいただき、今こそ政治家、経済界、マスコミ、役所、学者を含め戦後のここ20年間先送りしてきたシステムを変えていく勇気の必要性を強調され参加者も共感を得たものでした。

また、変革による新たな社会再生のシステム作りには国土を超え、地理的な距離を超えたIT活用がベースになるし、技術革新の先端あるITビジネスはいずれ日本の社会再生に貢献していくはずであるとの話を得、IT業界としての前向きな取組に弾みがついたものとなりました。



早稲田大学特任教授  
末延 吉正 氏

## 人財育成委員会

## 平成23年度新入社員教育報告

平成23年度「新入社員研修」は、①MISA 訓練ならではの特色であるビジネスの実践の場で要求されるビジネススキルやコミュニケーションの実務基礎スキルを養成する「ビジネス基盤」コース、②システムエンジニアに必携の基盤技術を系統的に習得し、実践技術の養成と技術思考スキルの

本質的向上を図る「技術系」コース、③本年度新設された、企画・営業活動の実践に必要な基本動作から各種実務スキルの習得を通じ、総合的な実践スキルの養成と顧客思考の定着を図る「企画・営業系」コース、④受講の定着を目的とした「フォローアップ」コースが下記の日程で開催されました。

ビジネス基盤養成コース	4月4日(月)～4月13日(水)
IT技術基盤養成コース システム開発技術・基礎/システム開発マネジメント・基礎	4月14日(木)～5月17日(火)
オブジェクト指向開発コース	5月18日(水)～6月7日(火)
企画・営業系人材養成コース	4月14日(木)～4月22日(金)
フォローアップコース	8月25日(木)～8月26日(金)



### 【受講生の声】(受講者アンケートより)

- ・知識や技術面だけではなく、社会人としての心構えや自覚を芽生えさせてくれた。
- ・一連の工程を通してシステム開発の疑似体験を行えたことで、自分で考えて行動する事ができた。
- ・自社の同期だけでなく、他社の同期との交流を深め横の広がりの良い経験となった。
- ・実践的な講義で「やってきて良かった!」と思える内容であった。

### 【新入社員教育事務局より】

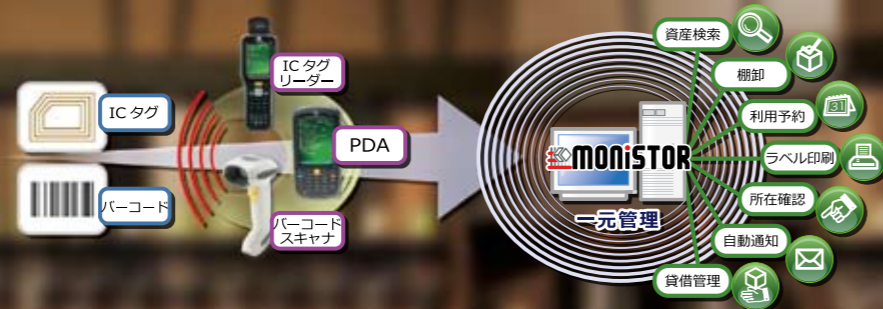
選りすぐりの講師陣による一貫した教育により、IT業界を担う人材が第一歩を踏み出しました。これからの成長に期待します。ご参加いただきありがとうございました。

## 資産・物品管理システム MONITOR

<http://www.tss21.co.jp/monitor/>



棚卸・資産管理を RFID (無線 IC タグ)・バーコードで実現するソフトウェアです。  
棚卸や持出・返却管理、利用スケジュールを管理し、企業資産の効率的な循環と有効活用へ導きます。



私たちが提案するトータルソリューションを通じて  
お客様の未来を創造するお手伝いをいたします

**TSS ONE STOP SOLUTION**  
株式会社 東北システムズ・サポート



<http://www.tss21.co.jp/>  
〒983-0021 仙台市宮城野区田子 1丁目 3-14 TSS ビル  
TEL. 022-259-9804 (代) FAX. 022-259-8222

# MISAの主な事業計画 (予定)

## 【企画・広報委員会】

- ・情報誌発行(第30号、第31号) 9月、3月
- ・東北ITソリューションEXPO2011開催 10月18~19日
- ・賀詞交歓会・講演会 1月
- ・事業運営会議 8月、11月、2月

## 【経営委員会】

- ・経営者層研修会 11月
- ・資格習得支援セミナー 11月
- ・経営者層情報交換会(MISA交流サロン) 7月、9月、11月、3月
- ・女性対象セミナー(ミサリ) 11月
- ・産業医、社労士セミナー 9月、2月
- ・親睦ゴルフ大会 10月

## 【人財確保推進委員会】

- ・会社合同企業説明会 10月
- ・産学共同実践的IT教育事業 ~3月
- ・長期インターシップ事業 随時

## 【人財育成委員会】

- ・中堅社員向け研修会 9月、11月
- ・技術向上セミナー 9月
- ・次世代交流会 9月、12月

## 【福利厚生委員会】

- ・親善ボウリング大会 下期予定
- ・フットサル大会 11月
- ・同好会(釣り) 下期予定
- ・ヘルスケアセミナー 12月

## 【事業共創委員会】

- ・企業情報データベース活用検討会 随時
- ・異業種交流会への参画(フロネシス21) 随時
- ・ビジネスマッチング活動 随時

【共通】 ・震災復興支援 随時 ・IT業界次世代人材育成事業 ~3月 ・理事会開催 1月、3月

# 一般社団法人 宮城県情報サービス産業協会 会員名簿 平成23年9月15日現在

## 一般会員(150社)

- (株)アート・システム
- (株)ISTソフトウェア 仙台分室
- (株)アイシーエス 仙台支店
- (株)アイソリューションズ
- (株)秋田情報センター 仙台支社
- (株)アスカ
- (有)アスクシステムズ
- (有)アセットソフト
- (株)アセンディア
- (株)アデネコンピュータシステム
- (株)アペールジャパン 東北支店
- (株)アルファシステム 仙台支店
- イトス(株)
- (有)イオス
- (株)イツ・コーポレーション
- (株)インストーク
- (株)内田洋行ITソリューションズ
- (株)エキサイト
- (株)SRA東北
- (株)エスエスイー 仙台事務所
- (株)エス・キューブ
- (株)SJC
- (株)エステック
- (株)NID東北
- NECソフトウェア東北(株)
- (株)エヌ・エス・シー
- (株)エヌ・シーエス
- NTTコムウェア東日本(株) 東北支店
- (株)NTTデータ東北
- (株)エム・エス・シー
- (株)エムジョイ
- (株)オービックビジネスコンサルタント 仙台営業所
- (株)OKIソフトウェア 東北支社
- (有)キムラオフィス・コーポレーション
- キャロルシステム(株)
- (株)協和エクシオ 東北支店
- (株)クエスト 仙台営業所
- (株)クロスキャット 仙台支店
- コアテクノ(株)
- (株)コーデアルコンサルティング&ソリューションズ
- (株)ココム
- コムシス情報システム(株) 仙台支店
- 今野印刷(株)
- コンピューターマネージメント(株)
- コンピュータシステム開発(株)
- (株)コンピュータシステム研究所
- (株)サイエンティア
- サイバーコム(株)ソリューション事業部 仙台本社オフィス
- (株)サイバー・ソリューションズ
- (株)佐々通オンサイト
- (有)サバンナコーポレーション
- (株)CSI 仙台支店
- (株)シー・エス・イー 仙台支社
- シーツ(株)
- (株)ジェイアール東日本情報システム 仙台支店
- (株)JC-21 教育センター
- (株)システムレーテ 仙台開発センター
- システムニコロ(株) 仙台支所
- (株)システムネットワーク
- (株)システムロード
- (株)システムワン

- 七十七コンピュータサービス(株)
- (株)ジャステック 仙台営業所
- 首都圏コンピュータ技術者(株)
- (株)ステップ
- (株)仙台システムサポート
- (株)仙台ソフトウェアセンター
- (株)仙台三川
- (株)セントラル情報センター 東北支店
- ソニーグローバルソリューションズ(株) 仙台オフィス
- (株)ソフトエイジ
- (株)ソフトキャンパス
- ソラン東北(株)
- 大和電設工業(株)
- 中央電子(株) 仙台テクノロジーセンター
- 通研電気工業(株)
- (株)ティー・エス・シー
- (株)データウェイシステムズ
- データコム(株)
- テクノウイング(株)
- (株)テクノサポートカンパニー
- テクノマインド(株)
- (株)デジス
- デジタルアーツ(株) 東北営業所
- (株)デジタルスクエア
- (株)デジタルメディア研究所
- (株)テスプロ
- 東京コンピュータサービス(株) 仙台支店
- (株)東京システムエージェンシー 石巻営業所
- 東北インフォメーション・システムズ(株)
- 東北NSソリューションズ(株)
- 東北オータス(株)
- (株)東北システムズ・サポート
- (株)東北システムテクノロジ
- 東北ディーシーエス(株)
- (株)東北電子計算センター
- トライアロー(株) 東北支店
- トライボッドワークス(株)
- (株)トレック
- (株)ナナオ 仙台営業所
- 日本アイ・ビー・エム・サービス(株) 東北AS部
- 日本SE(株) 東北支店
- 日本エス・ディー・エル(株)
- 日本総合システム(株) 仙台支社
- (株)ニューソル
- ニューソル(株) 東北事業部
- (株)ネクサスソリューション
- (株)ネスコ 仙台支店
- (株)ネットレンド
- ネットワンシステムズ(株) 東北支店
- バイスリープロジェクト(株)
- (株)ハイバーソリューション
- (株)バスコ東北事業部
- ハルコムコミュニケーションズ(株)
- (株)BSNインターネット 東北営業所
- PFU東日本(株)
- (株)ビーフル
- (株)東日本技術研究所
- 東日本情報機器(株)
- ピセ(株) 仙台支社
- (株)日立東日本ソリューションズ
- (株)ピッツ 東北事業所
- フィット産業(株) 仙台営業所
- (株)フォーレスト

- (株)フジシステムセンター
- 富士通エフ・アイ・ピー(株) 東北支社
- (株)富士通東北システムズ
- (株)フジビジネスセンター
- 扶桑電通(株) 東北支店
- (株)フライトシステムコンサルティングセンター
- (株)フリースタイル
- (株)フリーハンド
- (株)PRO&BSC
- (株)プロテウス
- (株)マイクロメイツ 仙台事業所
- (有)マインドアクセス
- (株)マルナカ
- (株)Minorityソリューションズ
- (株)宮城県農協情報センター
- (有)メイシステムズ
- (株)メディア・サポート
- (株)ゆいネット
- USOL東北(株)
- ユニバーサルインフォメーションサービス(株) 東北事業所
- ライズ・システム(株)
- (有)ラスタファクトリ
- (株)ラネックス
- (株)菱友システムズ 仙台営業所
- (株)ワールドインテック テクノ事業部 仙台営業所
- (株)YSLソリューション 東北事業所

## 賛助会員(29社)

- (株)アイ・ティ・シー・キューブ
- 石巻専修大学
- 伊藤忠テクノソリューションズ(株)
- (株)エスマネジメントオフィス
- 兼松エレクトロニクス(株) 仙台営業所
- キューアンドイー(株)
- 小林クリエイト(株) 東北支店
- (有)コムサイト
- コムリーディング(株)
- 高橋やすひこ営業塾
- (株)TOUA 仙台事業所
- 東北電力(株)
- 東北リコー(株)
- 日商エレクトロニクス(株) 東北営業所
- 日本アイ・ビー・エム(株) 仙台事業所
- 日本オラクル(株)
- 日本電気(株) 東北支社
- 日本マイクロソフト(株) 東北支店
- 日本ユニシス(株) 東北支店
- 東日本電信電話(株) 宮城支店
- (株)日立製作所東北支社
- 富士通(株) 東北支社
- (株)フレックス池田
- マンパワージャパン(株)ソリューションサービス事業部 仙台支店
- NPO法人みちのく情報セキュリティ推進機構
- 宮城県職業能力開発協会
- (社)みやぎ工業会
- (株)ユアテック
- 赤松 康治(個人会員)

(五十音順、敬称略)

このたびの東日本大震災にて  
被害を受けられた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。  
皆さまの安全と一日も早い復興のお役に立てるよう、  
当社も東北電力企業グループの一員として、  
更なる努力を続けて参ります。

東北電力企業グループ  
**東北インフォメーション・システムズ株式会社**

トインクス 検索

<http://www.toinx.co.jp>

# 東日本大震災復興支援プロジェクト 「ITで日本を元気に！」

トライポッドワークス株式会社  
代表取締役社長  
佐々木賢一氏



3月11日。普段、週の後半は東京オフィスにすることが多い私ですが、この週はめずらしく木金と仙台におり、地震の瞬間を仙台本社の自席で迎えることになりました。

その時の弊社オフィス様子については、社員が撮った衝撃映像も含めブログにアップしていますので、是非そちらをご覧ください。

（「仙台のITベンチャー日記 地震発生時」で検索して下さい。）

あれから半年。皆さんもそうだと思うのですが、その後起きたこと、行ったことなどの密度があまりにも濃いので振り返るとあの日からまだ半年しか経っていないのが意外である反面、地震直後の記憶が鮮烈であるため、ついこの間のようでもあり、何か不思議な感じがするのが正直なところではないでしょうか。

ところで、あの地震直後、情報ツールとして非常に役に立った（あくまでも仙台市内ではと言うことですが）のがワンセグ携帯とスマートフォンでした。

私も、これらで震源域や規模の確認ができ、沿岸部への津波の到達を知ることができました。（ただし、この時点ではこれほどまでの大災害であることは想像できませんでしたが…）

また、弊社は社員全員にiPhone/iPadを配っているのですが、これが社員の安否確認に非常に威力を発揮し、1時間ほどで社員全員の無事を確認できたことは、後々振り返ってみるとその後の事業のリスタートが素早くできた一番の要因だったのではないかと思います。特に我々経営者の立場では、社員全員の安否確認が完了しないことには事業復旧に集中できませんからね。

その後一週間、ご多分に漏れず弊社も大変な状況だったわけですが、その経緯は以下のサイトなどに掲載されていますので、ここでは割愛させていただきます。

（「BCN被災地レポート トライポッド」で検索して下さい。）

ともかく、普段ITに携わる地震直後から沿岸部においては今に至るまで、「情報」と言うものが如何に重要で、その収集や発信の能力、情報にアクセスするためのツールの使いこなしなどの差によって非常時に於ける行動及び結果に大きな違いが生じることを強く実感しました。

さて、私は震災直後、企業として継続的に震災復興に貢献できることは多いであろうと考え、行政や一般的なボランティアとは違う角度で震災復興に関わりたいと思い、「仙台から日本を元気に!」と「ITで日本を元気に!」と言う2つの復興支援活動を立ち上げました。



前者は津波の被災地に近い仙台の様々な業種の企業、後者は東京を中心とした全国のIT企業に声を掛けさせて頂き、これまでのべ200人以上がこの活動に参加してくれています。

当初数ヶ月は各所に生活物資を提供しつつ沿岸部の主要な方々や頑張っている若手との関係作りを進め、最近はこの関係をベースに、事業復興の支援やコミュニティ維持のための仕組み作りを主にITの側面からお手伝いしています。

震災半年が経った9月11日には南三陸町の復活した民宿を貸し切り、地元の方々や仙台や東京のメンバーが一同に集まり「ITから日本を元気に!」の合宿を行い、今後の復興に向けた計画を共有しました。

その他の活動内容についてはブログに詳しく書いていますので、是非お読み頂ければと思います。

（「仙台のITベンチャー日記」で検索して下さい。）



沿岸部の復興には、明らかに10年単位の時間が掛かります。当活動においても継続的に様々なプロジェクトを実行して行きますので、この文章をお読みのMISA会員の皆様にも、今後は是非ご参加頂きたいと思っています。

よろしくお願ひ致します!

※ ご連絡先>

Facebookアカウント:佐々木賢一、

twitterアカウント:kenichi\_sasaki

※ 各種情報>

ITmediaオルタナティブブログ「ITで日本を元気に!」、

「仙台のITベンチャー日記」

「ITで日本を元気に!」ホームページ

<http://revival-tohoku.jp/it/>

当活動を通じて、南三陸の若者たちにスポットを当てたビデオもアップしましたので是非ご覧ください。

## 各種助成制度のご案内

東日本大震災被害に伴う経済上の理由により、事業活動が縮小した場合にも利用できます。

### 1. 雇用調整助成金（大企業）・中小企業緊急雇用安定助成金（中小企業）

（問合せ先：公共職業安定所又は都道府県労働局）

景気の変動、産業構造の変化等に伴う経済上の理由により事業活動の縮小を余儀なくされ、休業及び教育訓練又は出向を行った事業主に対し、休業手当、賃金の一部が助成される。

<主な支給要件>

最近1ヶ月の生産量、売上高等がその直前の1ヶ月又は前年同期に比べて5%以上減少していること。

<助成金支給額>

①休業	休業手当相当額の	4/5（大企業2/3）
②教育訓練	賃金相当額の	4/5（大企業2/3）
	プラス6,000円/1人1日	（大企業4,000円）
③出向	出向元で負担した賃金の	4/5（大企業2/3）

\*支給額に上限があります。

\*従業員の解雇を行わない場合は、4/5⇒9/10（大企業2/3⇒3/4）となります。

<受給期間>

1年間

\*休業、教育訓練は支給限度日数は3年間で300日

### 2. 被災者雇用開発助成金（問合せ先：公共職業安定所又は都道府県労働局）

以下の方を公共職業安定所等の紹介により1年以上雇用されることが見込まれる労働者として雇い入れる事業主に対して助成金を支給します。

（平成23年5月2日以降の雇い入れで、雇用保険の一般保険者として雇用される場合に限る）

- ①震災時に被災地域で就業しており、震災により離職を余儀なくされた方
- ②震災時に被災地域に居住していた方

<助成額>

- ①中小企業 90万円（短時間労働者は60万円）
- ②大企業 50万円（短時間労働者は30万円）

\*短時間労働者とは、一週間の所定労働時間が、同じ事業所に雇用される通常の労働者の一週間の所定労働時間に比べて短く、かつ30時間未満である方をいいます。

<支給方法>

雇い入れ後、6ヶ月毎に2回に分けて支給

### 3. 成長分野等人材育成支援事業（問合せ先：公共職業安定所又は都道府県労働局）

震災による被災者を新規雇用・再雇用した中小企業主がその労働者に職業訓練を行う場合には業種を問わず訓練経費を助成します。

- ①新規雇用は、平成23年5月1日以前の雇い入れ又は平成24年3月以降卒業予定の新規学卒者に限ります。
- ②再雇用は、平成23年3月11日以降平成23年7月10日までに離職した被災者を再び同 事業所で雇い入れる場合に限りです。

<助成額>

- ①OFF-JTの場合は事業主が負担した訓練費用
  - ②O-JTは対象労働者1人につき1時間当たり600円
- \*助成額の上限は職業訓練コース1コース当たり20万円（1人3コースまで）

### 4. 東日本大震災復興緊急保証（問合せ先：都道府県等の信用保証協会）

<対象となる方>

- ①震災の影響で業況が悪化している方（売上高の減少が震災後3ヶ月につき前年同期比10%以上）
- ②震災に起因した風評被害による契約の解除等の影響で急激に業況が悪化している方（売上高の減少が震災後3ヶ月につき前年同期比15%以上）

<支援内容>

保証限度額：無担保8千万円、最大で2億8千万円 保証料率：0.8%以下

資金使途：事業再建に必要な資金及び経営安定化資金

保証の割合：借入額の100%

保証人：代表者保証のみ

# 東北ITソリューション EXPO2011

10/18火 10:00~17:00 19水 10:00~17:00 会場 アエル5F・6F [セミナールーム(1)]

同時開催 10月19日(水)のみ  
IT企業合同説明会  
[対象]2012年3月卒業見込みの大学生、大学院生、  
短大生、高専生、専門学校生(既卒者含む)

## 企業ブース出展企業 (五十音順)

- (株)アート・システム
- (株)アイシーエス
- イートス(株)
- 岩手県立大学ソフトウェア情報研究科
- (株)SJC
- NECソフトウェア東北(株)
- エプソン販売(株)
- (株)シー・エス・イー仙台支社
- シーツ(株)
- (株)システムワン
- (株)信興テクノミスト
- (株)スタンディア
- (株)Sola.com
- 中央電子(株)
- (株)ティー・エス・シー
- テクノ・マインド(株)
- テクノウイング(株)
- (株)デンソーウェーブ
- 東北インフォメーション・システムズ(株)
- (株)東北システムズ・サポート
- (株)ナナオ
- パナソニックシステムソリューションズジャパン(株)
- PFU東日本(株)
- 藤カマンダーソフト(株)
- (株)富士通東北システムズ
- (株)フジビジネスセンター
- (株)文献社
- ユニバーサル・インフォメーション・サービス(株)
- (株)ラネックス
- (株)リードコナン
- (株)菱友システムズ仙台営業所



## IT企業合同説明会参加企業 (五十音順)

- イートス(株)
- (株)イツ・コーポレーション
- (株)インストーク
- (株)ココム
- (株)シー・エス・イー
- システムニacol(株)
- (株)システムロード
- (株)ティー・エス・シー
- (株)データウェイ・システムズ
- (株)デジタルメディア研究所
- 東北インフォメーション・システムズ(株)
- (株)東北システムズ・サポート
- (株)トレック

プレゼンテーションセミナーご参加には、事前申込が必要です。(無料)  
申込用紙に必要事項をご記入の上、FAXまたはメールにてお申込ください、WEBサイトからもお申し込みいただけます。  
また定員になり次第、締切とさせていただきますので早めにお申込ください。

お申し込み書をFAXまたは、メールにてお送りください。下記WEBサイトからもお申し込みいただけます。  
FAX. 022-716-0867 mail. tohoku-itfair@sv-c.jp  
フェア共同実行委員会事務局[(株)エス・ブイ・シー内] TEL.022-716-2313 http://www.tohoku-it-solution-expo.jp

## 基調講演 10/18火



13:00~14:30  
東北大学  
未来科学技術共同研究センター/准教授  
青木 輝勝  
あおき てるまさ

東京大学大学院工学系研究科電子工学専攻博士課程修了。博士(工学)。東京大学先端科学技術研究センター助手、講師を勤め、2007年6月より東北大学電気通信研究所准教授、2010年10月より現職。主にインターネット上のデジタルコンテンツ(ネットワークコンテンツ)を対象としたコンテンツ創生技術、コンテンツ理解技術、コンテンツ流通技術、次世代メディア技術に関する研究に従事。文部科学大臣表彰若手科学者賞など受賞多数。

講演テーマ ネットワークコンテンツ技術の将来展望

[講演内容]中東地域の民主化運動に代表されるように、近年、一般市民の発信が活発に行われるようになり、また、その発言力も急速に増している。インターネット上を流れるネットワークコンテンツはこのような単に受信するだけのものから、発信するもの、コミュニケーションするものへとその性質を変えてきている。本講演では、映像系コンテンツを中心にネットワークコンテンツの将来展望について論じる。



15:00~16:30  
日本マイクロソフト株式会社  
デベロッパー&プラットフォーム統括本部  
デベロッパーエバンジェリスト  
太田 寛  
おおた ひろし

日本マイクロソフト勤務。マイクロソフトの最新技術・製品の普及啓発を担当するエバンジェリスト。ITシステムに実世界情報を取り込むセンサー技術、各種デバイスとクラウドとの連携による新たな可能性の探求や、関連する標準化活動への参画、各種コンテストを通じた技術者育成など、幅広く活動中。

講演テーマ 組み込み技術とクラウドが創り出す新たな情報社会

[講演内容]ITの世界では、クラウドの実用化やスマートフォンの普及が進み、ネットワークを技術基盤とした変化が進行している。スマートフォンでは、ユーザーが自分の好きなアプリを後から入れ、他のサービスや機器と連携させるのが当たり前になっている。このような、完成形の機器の提供ではなく、他のサービスや機器と組み合わせて新たなサービスやアプリケーションが生み出される形態は、他の組み込み機器領域においても、今後増えていくものと思われる。本講演では、デバイス連携などの先進事例の紹介を交えながら、今後訪れるであろう新たな情報社会を概観する。

## 基調講演 10/19水



13:00~14:30  
特定非営利活動法人 エルピーアイジャパン  
理事長  
成井 弦  
なるい げん

1969年日本DECに入社、ソフトウェア事業本部長、大阪営業所長、米国DECの教育、コンサルタント担当副社長、日本DEC取締役等を歴任。その後、Silicon Graphics社に移り、取締役副社長等を歴任。日本SGI在籍中にLPI-JapanをNPOとして設立、理事長に就任し現在に至る。

講演テーマ オープンソースムーブメントが創る新たなビジネスモデル

[講演内容]LinuxはPCを除く殆どの分野で主流になりました。ネット関連サーバでは80%近くがLinux、また証券会社やスパコンでもLinuxが大半です。実は、Linuxを生んだオープン・ソース・ムーブメントは多くの分野に多大な影響を与えています。大震災後を考える時に、今までは180度逆の視点でビジネス構築をする事により、国内外に競争力を持ち得る分野が多々あります。講演ではこのような観点から講演をし、皆様のお役に立てれば幸いです。

主催 | 一般社団法人宮城県情報サービス産業協会(MISA)/日本情報振興協同組合(JIA)東北支部  
共催 | 宮城県中小企業団体中央会/東北情報通信懇話会/(社)組込みシステム技術協会(JASA)  
後援 | 総務省 東北総合通信局/経済産業省 東北経済産業局/宮城県/仙台市/宮城県高度情報化推進協議会/(財)みやぎ産業振興機構/(社)東北経済連合会/仙台商工会議所/東北地域情報サービス産業懇話会/(社)青森県情報サービス産業協会/(社)秋田県情報産業協会/(社)山形県情報産業協会/(社)福島県情報産業協会/(社)みやぎ工業会/(株)日本政策金融公庫 仙台支店 中小企業事業/仙台銀行/(株)仙台ソフトウェアセンター(NAVIS)/(独)雇用・能力開発機構宮城センター/東北IT産業振興機構/河北新報社  
フェア共同実行委員会 | 一般社団法人 宮城県情報サービス産業協会(MISA)代表 〒980-0802 仙台市青葉区二丁目14-15 アミ・グランデ二丁目2F 株式会社トレック TEL.022-711-7777 FAX.022-711-7778 | 日本情報振興協同組合(JIA)代表 〒980-0014 仙台市青葉区本町1丁目12-12 GMビルディング4F イートス株式会社 TEL.022-212-3063 FAX.022-215-2625  
お問合せ | フェア共同実行委員会事務局[(株)エス・ブイ・シー内] TEL.022-716-2313 http://www.tohoku-it-solution-expo.jp

## 震災復興支援への取り組み

### MISA震災復興支援活動の概要

MISAは震災復興支援の一環として、①ICT支援応援隊、②宮城県社会福祉協議会と連携し支援活動をしてまいりましたが、①は7月11日をもって受付を終了、②もほぼ終局に向かっております。ご協力いただきました会員企業の皆様方、ありがとうございます。

#### ○ICT支援応援隊

- ・ネットワーク、ハードウェア、ソフトウェアのICT業態が結集して、PC設置やネットワーク環境設定等被災者・被災地の救援、復興を支援する
- ・発起人 (社)日本経済団体連合会、(社)コンピュータソフトウェア協会(CSAJ)、在日米国商工会議所(ACCJ) 一般社団法人情報サービス産業協会(JISA)、一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会(CIAJ) (社)電気通信事業者協会(TCA)、一般社団法人電子情報技術産業協会(JEITA) 一般社団法人日本コンピュータ販売店協会(JCSSA)
- ・対象箇所：避難施設、仮設住宅、医療施設、学校、NPO、その他それらを支援する公的機関等

#### ○宮城県社会福祉協議会支援

- ・宮城県社会福祉協議会と連携し被災地ボランティアセンターにおけるデータ入力業務をサポートする
- ・対象ボランティアセンター  
石巻、東松島、岩沼、山元、多賀城、宮城野区、若林区、名取等

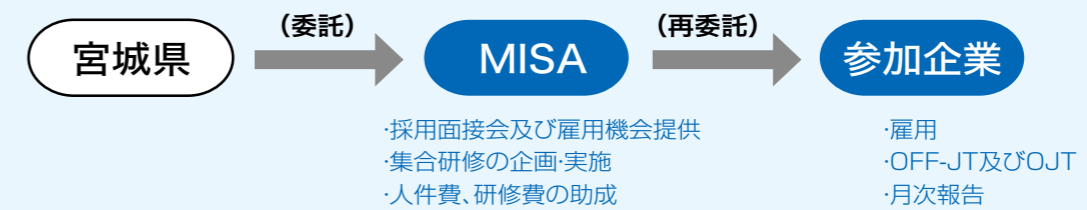
	ICT支援	協議会支援VC	工数(人日)
支援企業	(株)データウェイ・システムズ	東松島	2
	NTT東日本-宮城	石巻	6
	東北インフォメーション・システムズ(株)	JA六郷等	14
	イトス(株)	岩沼	2
	(株)システムロード	塩釜	5
	(株)サイエンティア	石巻	4
	(株)東北システムズ・サポート	名取	5
	(株)フリースタイル	塩釜	6
	(株)ビッツ	山元	2
	(株)SRA東北	石巻	6
	ソラン東北(株)	山元、塩釜	2
	(株)日立東日本ソリューションズ	石巻、山元	3
	東北NSソリューション(株)	石巻、山元	4
	サイバーコム(株)	塩釜	2
	(株)アルファシステム	山元	5
	(株)NID東北	山元	1
	4		69

## 「IT業界次世代人材育成事業」を受託

(社)宮城県情報サービス産業協会(略称:MISA)では、昨年に引き続き平成23年度の国の緊急雇用創出事業の一環として宮城県より「IT業界次世代人材育成事業業務」を受託し6月より事業を開始した。本事業は、宮城県内に居住する新規卒者等の未就職者を雇用し、集合研修や企業によるOJT研修を行い、県内IT業界の次世代を担う人材育成を目的としており、震災の影響等による厳しい社会・経済状況により県内企業の採用絞り込みで就職

内定率が低下している中、未就職者の雇用支援対策にも貢献できるものとし、会員企業の協力によりMISAとして取り組んだものである。現在、MISA主催の採用面接会等で新規追加雇用(15社/20名)した社員の集合研修及びOJTを実施中であるが、国の助成金活用により、企業側の負担軽減効果が大きいことから、今後もIT業界の人材確保育成の助成事業として継続が望まれている。

#### ○事業スキーム



#### ○研修スケジュール

研修内容	平成23年						平成24年			
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<b>I. 新入社員基礎教育</b>										
①新人育成コースⅠ (7日) ・コミュニケーション応用力養成他		4~12								
②新人育成コースⅡ (7日) ・ビジネス総合基礎力他				12~14	11~14					
③新人育成コースⅢ (14日) ・提案力養成他					10/26~11/7	8~15				
<b>II. 共通技術研修</b> (8日)										
①アルゴリズムとC言語		13~25								
②情報処理基礎 (6日)			22~29							
③Android開発基礎 (3日)				9/30~10/4						
<b>III. システム設計・開発技術研修</b> (17日) ・オブジェクト指向設計開発他		7/26~8/19								
<b>IV. 組込みソフトウェア</b> (17日) ・C言語による組込みプログラム開発他		7/26~8/19								
<b>V. 資格取得教育</b>										
①基本情報技術者資格対策 (8日)			30~31	8~9	29	5~7				
②UML資格対策 (5日)				1~7						
③オラクル認定資格対策 (8日)					15~28					
④LPICレベル1級資格対策 (7日)						17~25				
<b>VI. 社内教育</b> (随時) ○OJT										





## 新入会員紹介 (平成23年6月1日以降の入会)



**正会員-入会** **賛助会員-入会**  
 会員数 (正会員・・・150社 賛助会員・・・29社)

	入会日	会員名 (代表者名)	住 所 TEL・FAX
1	6月1日	ネットワークシステムズ(株) 東北支店 (支店長 辻 晃治)	〒980-0013 仙台市青葉区花京院1-1-20 花京院スクエア TEL 022-212-6050 FAX 022-212-6051
2	6月10日	(株)佐々通オンサイト (代表取締役 佐々木 泰夫)	〒982-0011 仙台市太白区長町6-6-11 啓陽第二1F TEL 022-397-9866 FAX 022-397-9861
1	6月10日	(株)アイ・ティ・シー・キューブ (代表取締役 小野 桂二)	〒981-3205 仙台市泉区紫山3-12-3 TEL 022-797-3421 FAX 022-797-3422
2	9月1日	赤松 康治 (個人会員)	〒981-1247 宮城県名取市みどり台2-13-6 TEL 090-2955-9397

(敬称略)

## MISA活動に是非ご活用ください。

一般社団法人移行を記念して、MISAユニフォーム (写真A) を30着用意致しました。サイズはS・M・L・Fと各サイズ揃えております。ぜひ、ボランティア活動時の着用をおすすめします。

また、フラッグ(写真B)(サイズ450×900mm)をセミナー会場等のサイン表示やゴルフコンペ等の集合写真撮影の中心にどうぞ。

ご利用のお問い合わせ  
事務局 若生まで



編  
集  
後  
記

今回の情報誌は、MISAが一般社団法人として移行後の第一回目の発行となります。一般社団法人の特徴として「公益性」を問わないとありますが、活動内容の枠組みの自由度が増すと考え、行動範囲を広げて、MISA内は勿論、県内の情報化の促進と普及啓蒙を図ることを視野に入れて活動して参りたいと思います。

東日本大震災が発生してから、早いもので半年以上が過ぎ去りました。それでも、復興はまだまだです。一日も早い復旧・

復興を心よりお祈り申し上げます。

最近になって思うこと。震災直後は水、電気、ガス等がストップし、食料が欠乏しました。その時は水の一滴でも大切に使わなければならないと思い節約したものです。でも私たちの今の生活は如何でしょうか。その時の気持ちを失っていないでしょうか。

「喉元過ぎれば熱さを忘れる」では無く、大切なことを忘れずに生活する事も大切かと。

(我妻)